

札幌市のごみ

市立札幌旭丘高等学校 うちの四姉妹:岩渕愛生 鈴木南昊 奈良岡里穂 濱田史央

研究の概要

札幌市と他の政令指定都市と一年間の一人当たりのごみ排出量を比較したところあまり差がなかった。
平成21年以降のごみ袋有料化により、札幌市のごみ排出量は減少し、不法投棄は増加した。

仮説

- 札幌市の一人当たりのごみ排出量は他の政令指定都市と比較して多い
- 市内ではごみ排出量がごみ袋有料化前後で減少している
- 不法投棄は増加している

テーマ設定の理由、背景、目的など

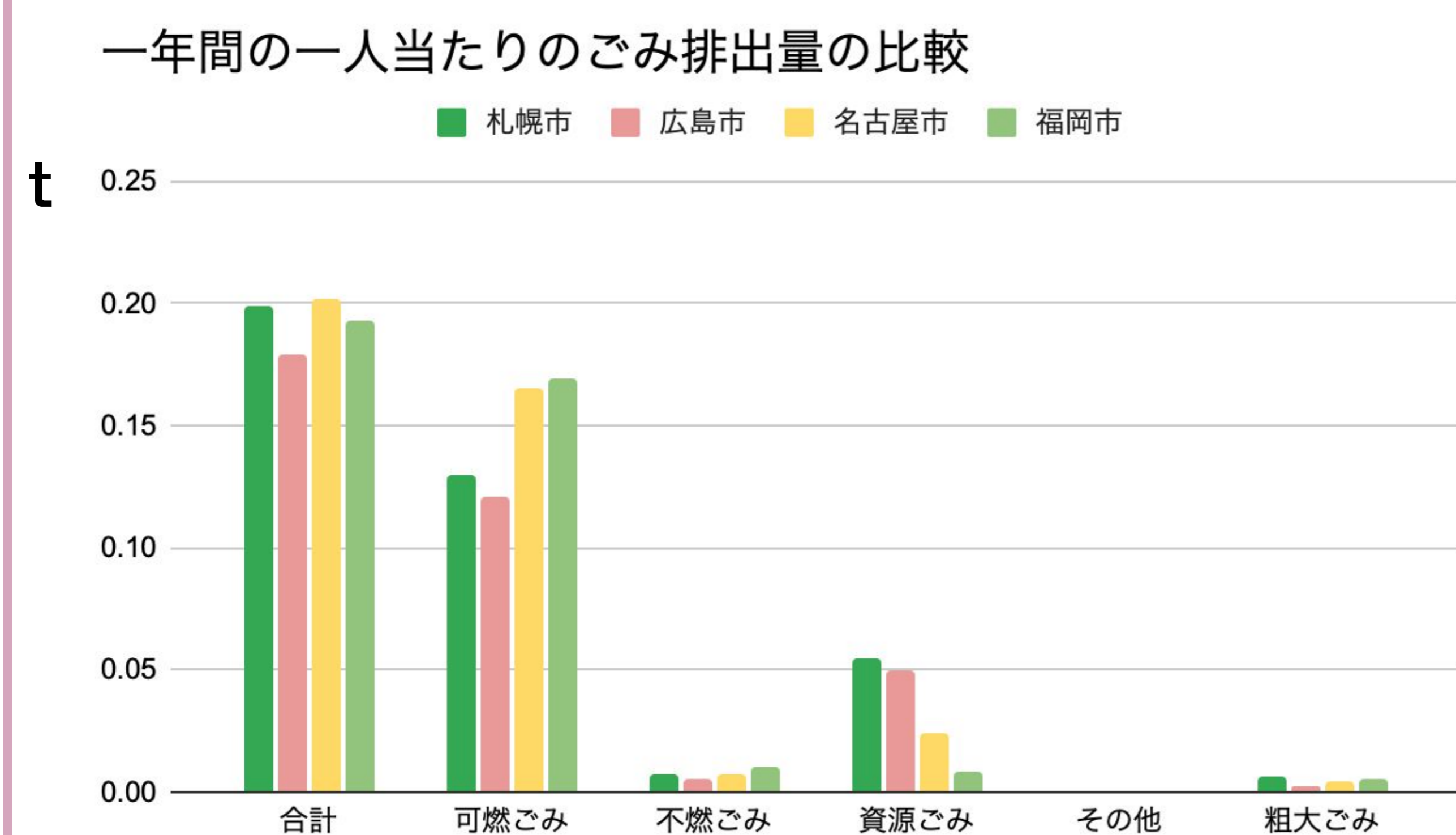
札幌市の一人当たりのごみ排出量は他の市と比べて多いのかごみ排出量の減少を目的の一つとしているごみ有料化でどのような変化があったのか気になった

研究方法、手順等

- 札幌市のごみの排出量と他の都市のごみの排出量を比較
- 有料化前後のグラフの読み取り
- 不法投棄件数のグラフの読み取り

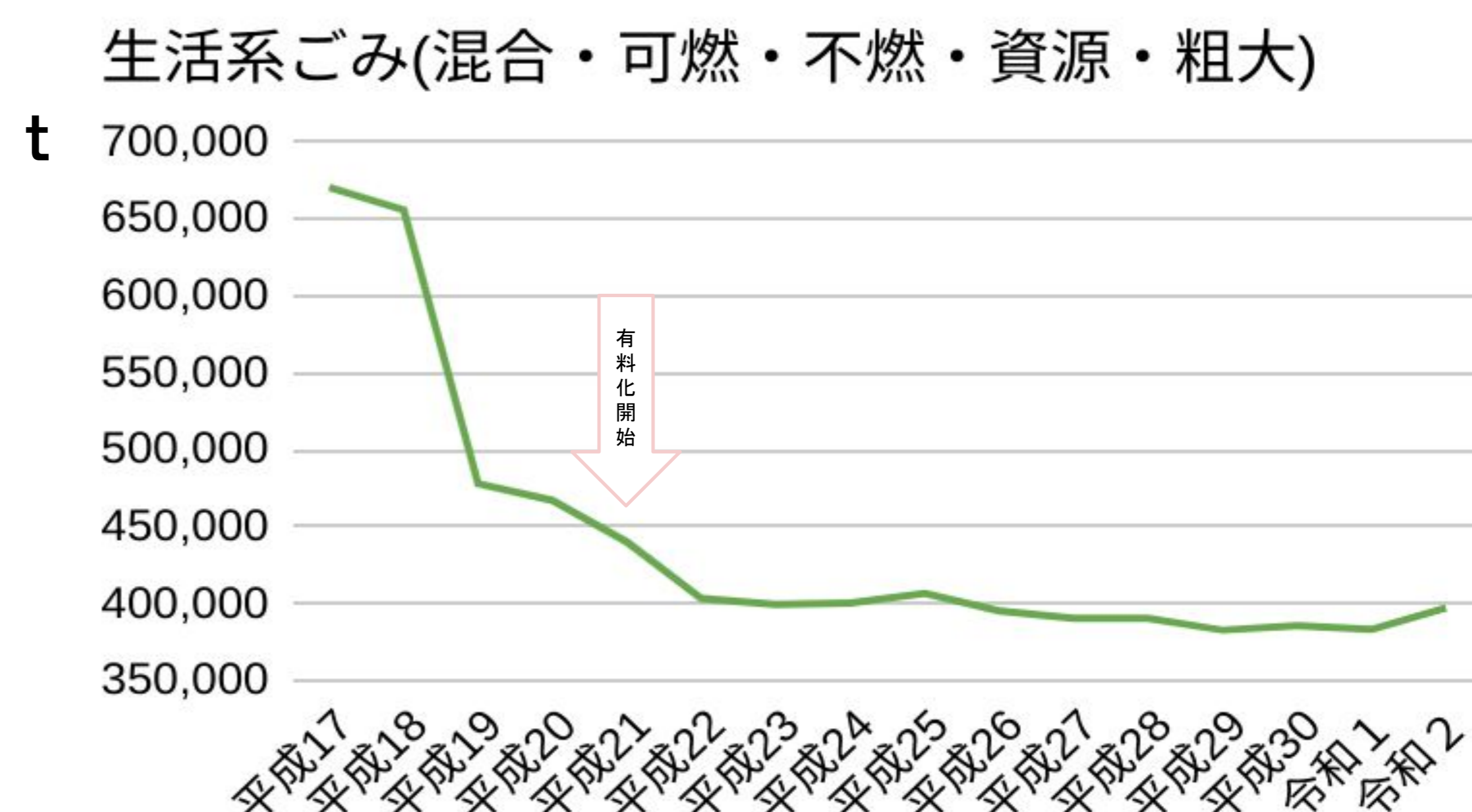
研究内容・研究結果

1. 札幌市と他の政令都市のごみの比較



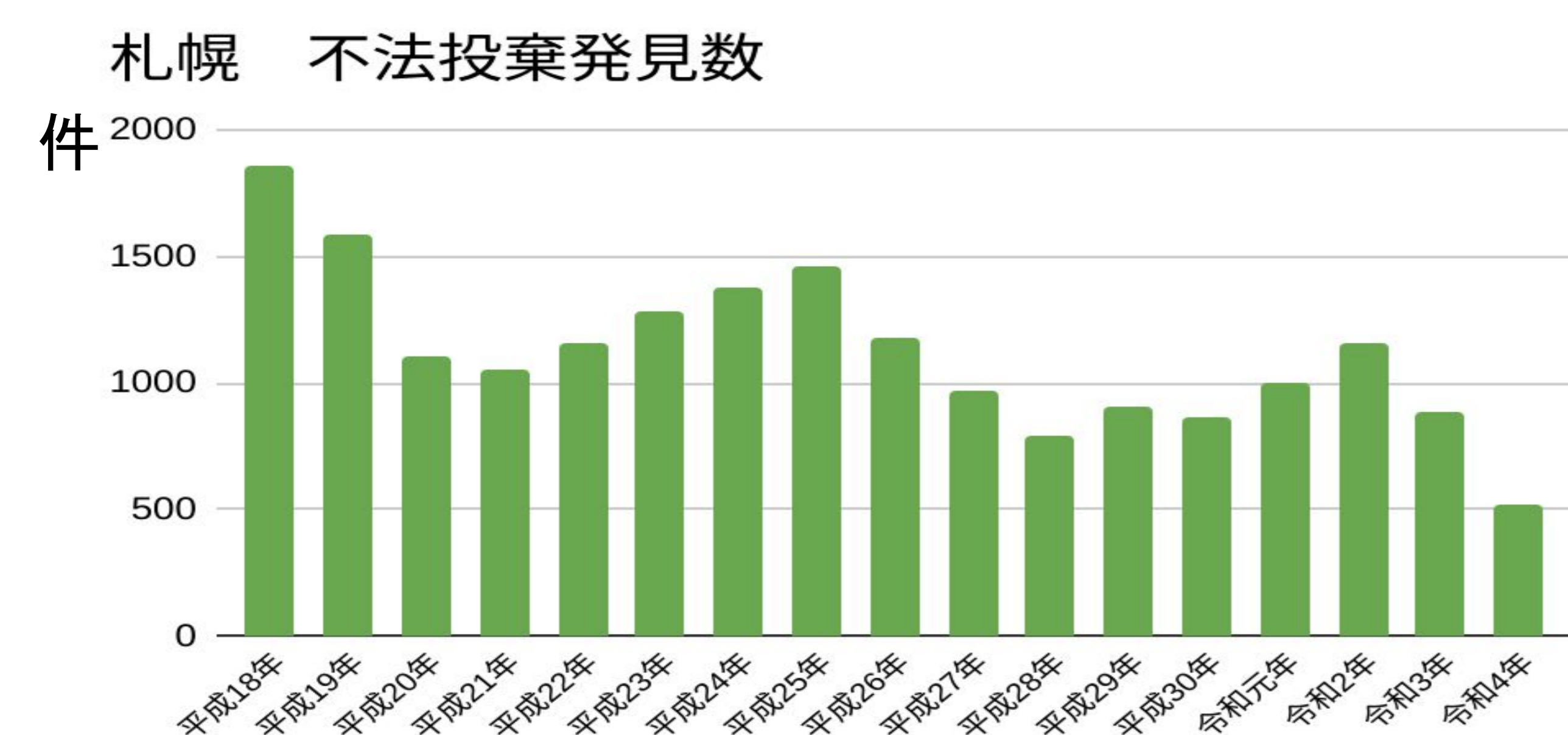
札幌市、広島市、名古屋市、福岡市の4つの市を生活ごみの種類別で比較した。一年間の一人あたりのごみ排出量(t)の合計ではあまり差がない。可燃ごみが少なく、資源ごみが少し多い。

2. 札幌市のごみの排出量の推移



ごみの排出量は平成18年から急激に減少し平成22年に現在の水準近くまで減少した。平成19年～平成22年に緩やかに減少しその後の排出量はほぼ一定である。また令和2年に増加している。

3. 札幌の不法投棄件数



- 平成18年以降急減
- 平成19年に不法投棄撲滅緊急宣言を発表し減少
- 平成21年以降ごみ袋有料化が実施され増加
- 平成23～29年に事業者(セイコーマート、日本郵便株式会社、札幌ハイヤー協会、札幌建設業協会、月寒・日晶運輸株式会社、札幌中小建設業協会等)とに不法投棄監視協力等の協定を締結

考察

札幌市は他の政令指定都市と比べ、可燃ごみが少し少なく資源ごみが少し多いことから、ごみの分別ができているのではないかと考えられる。

札幌市のごみ排出量はごみ袋有料化前の平成19年にリサイクルのリーフレットの作成やホームページの作成などリサイクルを促進する取り組みが行われたことで減少、平成21年にごみ袋有料化が行われたことによりさらに減少、その後しばらく一定の水準を保ったと考えられる。令和2年にコロナ禍での巣ごもりにより少し増加したと考えられる。

不法投棄数は平成19年の不法投棄撲滅宣言により減少、平成21年のごみ袋有料化により増加、近年は事業者との協定により、近年減少傾向にあると考えられる。